



# 小田原なぎさ会通信

No.36

2024年4月1日発行

私たちは、「精神に障害を持つ皆さんをはじめとして、色々な障害を持つ皆さんが誇りある社会の一員として自立した生活を送ること」を支援する活動をしています。①施設の設定・運営、②普及・啓発、③関連先との連携、が事業の中心です。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## つながりを広げ、更なる連携・協働へ

理事長 乾 恒雄



今年は年始早々から能登半島地震や飛行機衝突事故などが発生し、波乱の年明けになりました。また、新型コロナウイルス感染症(以下、コロナと記載)は落ち着いていく方向にあると捉えています。これからが本当の意味での「With コロナ」の始まりであり、引き続き柔軟な判断と対応が必要と考えております。

さて、昨年度も基本方針として「現在取組み中の活動継続とその内容充実に重点を置く」ことを掲げて活動の推進に努めました。感染症の影響で活動中断を余儀なくされた事業もありますが、多くはコロナ禍前の状況まで活動を回復させています。

SDGsの視点では、「かながわ SDGs パートナー」と「おだわら SDGs パートナー」の登録を終え、各自治体との協働を一步前進させました。また、神奈川県から 2023 年度の栄えある「みんなの SDGs 賞」を受賞しました(詳細次ページ参照)。これも応援いただいた多くの皆様のおかげであり、感謝いたします。

施設運営では、従前同様に「気軽に立ち寄れる居場所作り」と「本人の希望や特性を配慮した相談支援・就労支援」を活動の二本柱として取組んでいます。近年の傾向として知的障害や発達障害を持つ利用者が増えてきていることや、利用者自身の高齢化と共にご家族の高齢化が進んでいることがあります。今後も利用者の多様化が進むと捉え、各々の障害特性や環境変化などに応じて適切な支援ができるように務めると共に、地域包括支援センターなどの関係する機関や団体との連携を更に強化していくことが大切と考えております(詳細次ページ参照)。

普及啓発活動を軸として5年計画で策定した中期的活動指針「広げよう! 『活動の輪』」は、昨年度末をもって一区切りを迎えました。全国各地で多くの共感をいただき、現時点で会員数127名にまで『活動の輪』が広がりました。ありがとうございます。一方、「普及啓発は私達の活動の原点」であり、今後も引き続き注力すべき活動であると考えております。多様性の社会の中で「障害を持っている皆さんも大切な私たちの仲間として共に暮らす地域・社会を作り上げていく動きを広げていきたい想い」を大切に、1人でも多くの皆様と共に、このような市民・社会活動を更に広げていきましょう。(詳細次ページ参照)。



小田原なぎさ会は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています

上記の想いや私たちの活動は、「SDGs」にも①福祉の促進や差別の解消・不平等の是正、②自然環境の保護及び回復(持続可能な生態系や森林の保護・回復、気候変動の軽減等)への取組みによる『誰一人取り残さない』持続可能で多様性と包摂性のある社会を目指す思想など、深いつながりを持っていると捉えています。



香かおる曾我山 (小田原市) 2024.2

これからも私たちの活動にご理解とご協力、そしてご協働をよろしくお願いいたします。

このページでは、私たちの法人活動や運営施設「小田原なぎさ作業所」での各種活動・イベントなどの様子を中心に紹介させていただきます。

## 中期的活動指針 **広げよう！『活動の輪』** の推進を終えて

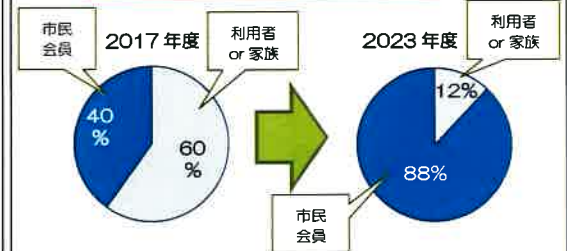
2019年(令和元年)度に策定した標記指針に沿った取組みは、2023年度末で終了しました。取組期間の殆どがコロナ禍であったために制約が多い中での活動になりましたが、色々な工夫を凝らす(リモートやメール活用など)と共に「**熱い想いと強い意志**」を持って普及啓発や協働の投げかけに注力しました。多くの皆様から私たちの活動に共感と賛同をいただき、下図に示すように「活動の仲間」「心の仲間」が大幅に増え、**普及啓発事業の大きな飛躍**を成し遂げました。

2024年3月31日現在の  
一般市民会員数：**111名**

対2017年度 **89名増!!!**

### <正会員の構成変化>

**一般市民会員が約90%に!!!**



標記指針に沿った活動を通して、「私たちの活動の原点は普及啓発にある」ことを体感的に再認識しました。でも、今回の結果は未だ「初めの一步」に過ぎません。引続き、普及啓発活動に注力していきましょう！『**取り巻く社会も障害を持つ当事者もお互いに歩み寄り、理解を深める努力を積み重ねる中から、共に生きる社会の実現を目指す**』活動です。SDGsの精神にも相通する私たちの活動を、皆様と共に広げていければ幸いです。1人でも多くの皆様のご理解とご協力・協働をよろしくお願いいたします。

## SDGs パートナー取組み ~「みんなのSDGs 賞」受賞~

神奈川県及び小田原市のSDGs パートナー登録を終え、早速各自治体との協働を開始しています。

### かながわ SDGs パートナー取組み



みんなのSDGs 授賞式にて

神奈川県企画の「みんなのSDGs」に応募し、登録パートナー約1300社・団体の応募67件の中から、当法人の取組み『**障害者が作るアップサイクル(Upcycle)自主製品「エコマグネット」の創出と販売推進**』が2023年度の栄えある「みんなのSDGs 賞」に選ばれました!!! 2月8日にパシフィコ横浜にて表彰式が開催され、賞状をいただきました。これも多くの皆様の応援のおかげであり、この紙面を借りて感謝申し上げます。

**理事長の想い：**今回の応募の背景には、本年度で10年目になる利用者主体の「エコキャップ活動」があります。この活動が継続して大きく発展してきたからこそ、自主製品「エコマグネットの創出」につながり、更には神奈川県からの表彰につながったと考えています。まさに、**正のスパイラル**の源がこのエコキャップ活動にあるのです。利用者の皆さんと受賞の喜びを分かち合い、次への活動につなげていきたいと思います。

### おだわら SDGs パートナー取組み

おだわら SDGs パートナー交流会や課題解決ワークショップに参加するなど、SDGs 実行委員会をはじめとした各種パートナー登録企業・団体との交流や意見交換の場を活用してお互いを知るところから開始しています。



「みんなのSDGs 賞」の受賞をきっかけに、私たちが取り組んでいる障害福祉の活動を広く認知していただくことができました。また、SDGs 推進の取組みを通して、各自治体をはじめとした各種パートナー登録企業・団体との交流を深める中から、活動分野に捉わられることなく広く連携・協働する可能性の探索を始めています。

# 施設運営の状況 地域活動支援センター 小田原なぎさ作業所

## ①変わりゆく施設運営

コロナを取巻く状況が大きく変化して、作業所でも多くの活動や行事を再開しています。一方で、利用者の中にはここ数年で生活パターンが大きく変わり、様々な課題に直面している方が増えています。また、昨今では利用者の高齢化が進み施設利用が困難になる方が増えると共に、ご両親も高齢になり利用者(障害者)が親を介護するケースも少なくありません。このような変化の中、今までの当法人単独での支援に加えて、関係する機関や団体(地域包括支援センターや相談支援機関・医療機関・介護機関・保健福祉事務所・行政等)と連携した支援が更に重要になってきています。

**<ケース1>** 高齢化や病気のために安定した歩行が困難になり、自力での通所が難しくなってきた利用者に対して、支援の一環として法人車両を使った送迎のトライアルを昨年度から始めています。本格的な送迎サービスには運転手の確保が必要になり、今後の課題です。



送迎トライアル

**<ケース2>** 体調不良が長引いているなど色々な事情から通所できていない利用者には、定期的な電話でのコンタクトに加え自宅訪問を行っています。買い物や日々の時間の過ごし方など生活の様子や困っている事などを聴かせていただき、アドバイス等も伝えるようにしています。実際に顔を合わせて話すことで、私たち支援者が把握していなかった情報を得る事ができると共に、利用者も「つながり」を感じていただけるようで、大切な支援の形の一つになっています。



ケア会議

**<ケース3>** 様々な課題をかかえている利用者への支援には、私たちの個別対応だけでは限りがある場合が多くなってきています。利用者ご自身及び取り巻く環境によっては、上記の関係する機関や団体と定期的に連絡をとり、適宜ケア会議(関係者が集まり、誰がいつまでにどのような支援するか等を決定)を実施するなどして、その方の将来を見据えた支援に努めています。



### 《私たちの想い：利用者の将来を見つめて》

今までも様々な利用者の困りごとや相談などに真摯に向き合い、その方に即した支援を重層的に行ってきたつもりでおりますが、利用者さんが「その先の生活(将来)」を安心して送れるような支援をこれからも継続し、更に充実させていきたいと思います。そして、施設運営では「共に生きる・当事者目線」を変わず大切にしていきたいと考えております。

## ②リフレッシュルームの紹介

癒しの空間

作業所には『リフレッシュルーム』という部屋があります。ここは利用者が休憩時間にお茶を飲んだり、本を読んで作業の疲れをリフレッシュしたりと、各々が自分のペースで自由に使えるところです。体調がすぐれない時には、畳コーナーで横になって休息をとることもできます。以前は作業部屋の片隅に休憩スペースを設けていましたが、今は独立した部屋をこの用途として設けているので「静かな環境でリフレッシュ」することができます。また、みんなが集えるスペースにもなっていて、定期的なパソコン教室にも活用しています。



ほっとひと息  
休憩時間は貴重なコミュニケーションの場です。

疲れた時は、  
ゴロっと  
ひと休み



### 《利用者さんにリフレッシュルームの居心地について伺いました》

- ・リフレッシュルームでみんなと話ができて楽しいです F.Kさん
- ・眠い時仮眠をするときに使います S.Uさん
- ・気持ちの切り替えになります S.Cさん

### 《人気のパソコン教室》

参加者も増えてきて、皆さん熱心に習っています。  
会員でボランティア講師の北原さん、いつもありがとうございます！

## ③みんなの短歌(5)

施設利用者の皆さんが作った短歌を少しずつご紹介しています。



- ・家にいてアクション映画観てる時 ストレス消えて心すっきり M.Hさん
- ・日常を楽しむ心忘れずに 就職目指し挑戦していく S.Cさん

## 事務局からのお知らせ

認定NPO法人小田原なぎさ会では、毎月下記のような様々なイベント等を企画しております。会員の皆様のご参加を心よりお待ちしております。お問い合わせは事務局までご連絡願います。

### ●今までの主な活動（R5年10月～R6年3月）

- |                             |                              |
|-----------------------------|------------------------------|
| 10/1 機関紙 小田原なぎさ会通信 No.35 発行 | 12/10 小田原市つながる福祉展参加（展示・販売）   |
| 10/6 赤い羽根共同募金活動（共同募金会主催）参加  | 12/13 ハートメッセージ 2023（県精連主催）参加 |
| 10/20 小田原なぎさ作業所 親睦会 BBQ 開催  | 12/22 クリスマス地域交流会開催           |
| 11/11 おだわらハートフェスタ（市主催）参加    | 2/8 「みんなのSDGs賞」受賞表彰式（県主催）参加  |
| 11/11 県民の集い（NPO法人じんかれん主催）参加 | 2/21 第2回地域ネットワーク会議（近隣）開催     |
| 11/18 城下町おだわらツアーマーチ（市主催）参加  | 3/13 令和5年度第3回理事会開催           |
| 11/26 UMECO 祭り参加（展示・販売）     | 3/10 社協さんちの井戸端会議参加（展示・販売）    |
| 12/6 第2回地域ネットワーク会議（広域）開催    | 3/11 畑体験（植付）実施               |

### ●今後の主な活動予定（R6年4月～R6年9月）

- |                            |                         |
|----------------------------|-------------------------|
| 4/1 機関紙 小田原なぎさ会通信 No.36 発行 | 8/3 UMECO アクティブサロン参加    |
| 4/18 かながわSDGsパートナーMTG参加    | 8/月上旬 新田公園夏祭り参加         |
| 4/25 令和6年度第1回理事会開催         | 8/中旬 おだわらSDGsパートナーMTG参加 |
| 5/29 2024年（令和6年）度通常総会開催    | 9/2 自主防災訓練実施            |
| 6/中旬 畑体験（収穫）実施             | 9/11 令和6年度第2回理事会開催      |
| 6/12 第1回地域ネットワーク会議開催       | 9/18 富士見地区ふれあいサロン参加     |
| 7/10 第2回地域ネットワーク会議開催       | 9/28 第11回なぎさ祭開催         |

### ●小田原なぎさ会への入会のご案内と寄附について

#### ★会員募集中：一緒に障害を持つ皆さんの多面的な支援を進めましょう！

会員になっていただくことで、障害者の支援活動につながります。大切に考えていることは『皆さんの思いや心であり、仲間意識』なのです。直接的な活動の時間確保を求めるようなことはありません。

#### ◆小田原なぎさ会会費について

- ・正会員：（個人）入会金0円 年会費2,000円（団体）入会金0円 年会費10,000円
- ・賛助会員：（個人）入会金0円 年会費1,000円/口（団体）入会金0円 年会費5,000円/口

#### ★「寄附」というかたちで、小田原なぎさ会の活動を応援願います！

当法人は『認定NPO法人』及び『指定NPO法人』を取得しています。寄附をしていただきますと申告することで、国税と地方税をあわせて寄附金額の最大50%が税額から控除されます。また、法人様からのご寄付の場合では損金算入限度額が拡大されます。

《令和5年度（R5年4月1日～R6年3月31日）に頂戴しました寄附金額のご報告》

**件数17件 総額490,580円** ご寄附いただきまして、誠にありがとうございました。

会費・寄附の振り込みは下記口座へお願いいたします。会費支払いには、便利な口座振替（年1回自動引き落とし）もごさいます。詳しくは事務局までお問い合わせください。

■ゆうちょ銀行 記号10970 番号34276131 トクヒ）オダワラナギサカイ

\*他銀行から振り込みの場合（店名）〇九八（ゼロキュウハチ）（店番）098 普通貯金3427613

■さがみ信用金庫 南鴨宮支店（普）0226591 トクヒ）オダワラナギサカイ

次号（No.37）は令和6年10月に発行予定です。当機関紙の感想や福祉に関する情報等がありましたら、下記メールアドレス（o-nagisa@nifty.com）までお寄せ願います。

これからも、更に多くの皆様に愛される「小田原なぎさ会通信」を目指し、より良い紙面作りに努めてまいります。

発行：認定NPO法人 神奈川県・小田原市指定NPO法人 小田原なぎさ会

〒250-0875 小田原市南鴨宮3-16-20 2F

Tel/Fax 0465-47-4513

E-mail o-nagisa@nifty.com

ホームページ <https://www.nagisakai.org/>

Facebook <https://www.facebook.com/odawaranagisakai>

小田原なぎさ会のホームページをご覧になるには  
検索サイトで「小田原なぎさ会」と入力いただくか  
右のQRコードをスキャンでアクセスできます

